

＼ 約半年間、検討を重ねて選定しました！／

導入する機器・システム



iPad Pro 12.9

Wi-Fi モデル

画面サイズが現存タブレットの中で最も大きく視認性が高い。セキュリティにも優れる。



moreNOTE

クラウド上でファイルを閲覧できるサービス。直感的に操作でき、画面同期や手書きでのメモも可能。

能美市議会では、令和3年6月議会からタブレット端末を運用する準備を進めています。ICTの活用が一般化された昨今において、タブレット端末は、議会運営や議会活動を円滑に推進するために必要不可欠なツールだと考え、今回の導入に至りました。

導入台数は40台で、議員・執行部ともにタブレット端末を使用し、環境負荷の軽減や議会運営の効率化を図っていきます。

また、タブレット端末には、新型コロナウイルス等の感染症対策として、ウェブ会議システムを活用したオンライン会議の実施など、様々な活用方法が考えられます。

これから実際に運用を進めていく中で、タブレット端末が持つ機能を最大限活かせるよう、活用方法についても検討を進めていきます。

議会運営を効率化

議会にタブレット端末を導入

導入までの経緯

R2.6

① 議会の活性化に関する検討会を設置



検討会を設置し、導入効果やメリット・デメリットなどについて協議を重ねました。

R2.9

② デモンストレーション



導入するシステムを選定するため、2社によるデモを行いました。

R2.10

③ 行政視察の実施



近隣の小松市・白山市を視察し、実際の運用方法や課題点などを確認しました。

R2.11

④ 機器・システムの選定
運用基準の作成



これまでの検討事項を踏まえた上で選定を行い、運用基準の作成に取り掛かりました。

R3.2

⑤ 機器・システムの発注



12月補正予算で発注を行いました。いよいよタブレット端末の運用が始まります。

1人あたり
の紙資料削減超
1,000枚



3月定例会では1人あたり1,000枚を超える紙資料が配布されていました。ペーパーレス化した際には、大きな削減効果が期待できます！